



レポート／
大手製作会社
設備投資戦略

三共ディスプレイ 株式会社

SureColor 新開発「UltraChrome GS3 インク with RED」搭載多色機「SC-S80650」製作現場をレポート

広島・廿日市市に本社を構える三共ディスプレイ(株)。看板・内装・家具や造作物など「店舗」にまつわる案件を、企画設計から製作施工、取付までトータルに手掛けている。東京、大阪、広島、福岡に拠点を設け、全国対応での事業展開も特色。各地のパートナー企業とともに、大型・多店舗案件を多数受注している。

出力業務については、約12年前からエコソルベントのミッドレンジ溶剤インクジェットプリンター(IJP)を使い続けてきたが、マシン性能の現状からの乖離、インク供給の不安から、満を持してリプレースを決意。選択したマシンは、エプソンのエコソルベントインク搭載高画質IJP「SC-S80650」だ。

「SC-S80650」は、エプソンの大判IJP「SureColorシリーズ」から、サイン&ディスプレイ業界向けモデルの新製品として昨年5月に発売した。新開発「UltraChrome GS3 インク with RED」の採用で、広色域・豊かな色表現・光沢感のある高画質を達成。乾燥性も高く、現場目線による出力後の巻取り時間短縮にも配慮した。

「PrecisionCore TFP プリントヘッド」や「Epson Wide CMYK Input Profile」なども搭載され、画質と生産性の両立を実現。「ユーザーニーズを細やかに反映し

た低溶剤機」と、業界で注目を集めている。

本誌では、エプソンIJPの導入を決定した三共ディスプレイの事業戦略に着目。同社製作推進部GKチーム・曾川貴生課長に、「SC-S80650」の採用に至った経緯と決め手、使用感について話を聞いた。



グラフィックシートやマーキングフィルム加工を行う製作室。



三共ディスプレイ 株式会社

【企業データ】

創業／1967年7月
資本金／2,000万円
代表／孝野真也
従業員／80人
所在地／広島県廿日市市木材港北7-17
URL／<http://www.sankyo-d.com>

【営業品目】

ショッピングセンター、専門店、飲食店等の企画設計・施工・管理／展示会、造形、商品陳列什器、家具等の設計・製作・管理／商業サインの企画・製作・施工・管理 …他

【主な設備】

溶剤IJP2台／ラミネーター2台／カッティングマシン1台／大判パネルソー …他



三共ディスプレイ 株式会社

製作推進部 GK チーム

曾川 貴生 課長

——「SC-S80650」導入の経緯

当社では、サイン製作用途として、約12年前に溶剤IJPを導入。以来、ずっとその機種2台を使用してきました。その間、何度も設備更新を検討しましたが、当社としてどうしても譲れない部分がありました。それは“圧倒的な屋外耐候性”と“均一で高濃度なベタ”の2点。作業者環境への配慮から、メーカーは溶剤成分をいかに弱めるかに腐心していますが、それに伴いどうしてもインクの強さが犠牲になります。ずっとインクのために置き換えを断念し続けてきましたが、マシンの老朽化やインク供給の不安をメーカーから伝えられたこともあり、本気でリプレイスに向けた調査を開始しました。

そんな最中、取引している資材販社の内覧会で、候補となるIJPすべてに触れる機会を得ました。カタログや出力サンプルだけでは分からない実務レベルでのリアルな稼動を見て、エプソン機がクオリティと生産性、そしてコストパフォーマンスに優れていると判断。昨年末に色再現に優れる多色機「SC-S80650」を導入しました。

——稼動してからの感想

臭気もほとんどないエコソルベントインクなのに、「十分使える」というのが正直な感想。擦過性が高く、屋外耐候性にも期待が持てます。何より、ベタのきれいさは事前調査以上で驚きました。特にライト系やオレンジ等の中間色は圧倒的です。当然ながら、生産性は従来機の数段上で、今まで取りたくてもなかなか取れなかった出力後の乾燥時間や、外注に回していた分の内製化で大きなメリットを創出しています。

同機には布ワイパーや空気循環システムなどオートメンテ機構がついており、不具合が起こりにくい点も高評価ですが、それでも初期はメーカーサポートを必要とする時が何度かありました。その際、エプソンの対応の早さには本

当に感謝しています。移行から実運用まで大変満足行く内容で、追加導入を決定。6月からは2台体制で業務に当たっています。

——測色器の導入について

色の再現性については申し分なかったのですが、プラスワンの付加価値ということで、測色器を導入。この業界でカラーマネジメントシステム（CMS）の浸透は進んでいませんが、だからこそ指定された色に限りなく近づけるシステムに可能性を感じます。当社は全国展開するチェーン店も顧客に抱えますが、地域ごとにサインの色味が多少違うというのでは話にならない。資材販社と連携し、当社と同じ設備を揃えるパートナー企業を増やすことで、全国対応案件にガッチリ応えて行こうと思っています。CMSを活用した色の数値的裏付けは、今後同じ仕事 came 際にも有効に作用しています。

——今後の展開

「SC-S80650」の導入で、今まで自社で行えなかったことができるようになりました。当社はインクセットにホワイトを選択しましたが、透明フィルムへの出力を想定しています。溶剤の白インクは黄ばんでいるというイメージを覆す同機のホワイトで、自信を持ってウィンドウ装飾提案に使えるそうです。

また、メディアメーカーと提携し、不燃認定の壁紙を出力できる体制も構築。得意とする内装分野への活用も見据えています。当社は今年創業50周年を迎えましたが、更なる飛躍に向けて、新たな企業価値をエプソン機が生み出してくれると確信しています。



測色器の導入により、作画品質のみならず作業効率もアップしたという。



SC-S80650

インク種別／エコソルベント

出力解像度／最大 1440dpi

出力速度／最速 18.2㎡/h

(塩ビ 720×720dpi 6pass出力時)

最大印字幅／1616mm

インク色数／CMYK、ライトシアン、ライトマゼンタ、オレンジ、グレー、レッド、ホワイトorメタリックシルバー

外形寸法／W2620×D880×H1338mm (最小時)

重量／284kg (インクカートリッジ含まず)

標準価格／¥2,200,000 (税別)

【エプソンホームページ】<http://epson.jp/surecolor>

【お問い合わせ先】プリンター購入ガイドインフォメーション 050-3155-8100